

麻生区区民会議 第11回 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成25年8月12日（月）午後6時00分～午後9時00分
- 2 開催場所：麻生区役所第4会議室
- 3 出席者：[専門部会委員]
石井委員、金光委員、菅野委員、菅原委員、高橋（慶）委員、高橋（庸）委員、東川委員、矢野委員、山田委員
（欠席）
武濤委員
[事務局]
鈴木企画課長、白石担当係長、藤江、桑原
- 4 傍聴者 1名
- 5 議 事
 - (1) 企画部会からの報告事項
【説明事項】

※金光委員より、企画部会での協議事項について報告があった。主な内容は以下の通り。

 - ・安全安心部会では、モデル事業の対象者を募集中。7/26付タウンニュース、メディアあさおなどにも募集記事を掲載しているが、現時点では応募者はない。
（事務局補足説明）
 - ・モデル事業は8/19をメ切としている。現状、10戸で1グループとして募集しているが、応募が無い場合、8/20以降の追加募集では条件を緩和し、戸建ては1件からでも良いこととする。また、場合によっては、直接周囲に声かけする。
 - ・モデル事業を監修する園田先生のご紹介で協力頂く大工の会社名は、公表せずに実施する方向。
 - ・区民会議フォーラムは予定通り9/7に実施する。各委員による近隣自治会への案内（ちらし配布）をお願いしたい。フォーラムでは、各部会長が部会員を紹介することとなった。参考資料を参照されたい。
 - ・第2回区民会議フォーラムの実施は未定である。
 - (2) 調査審議課題等について
 - ①「芸術・文化のまちづくり」
【説明事項】

※部会長より、資料1をもとに、市の芸術・文化行政（市民・こども局市民文化室）へのヒアリング実施報告があった。主な内容は以下の通り。

 - ・区に明確な文化行政担当部署はない。区の特性に応じ、地域振興課や企画課が事業を推進している。継続的な芸術・文化の取組みという意味では、地域

が（中心的な役割を）担うのが良いのでは。

- ・エリアが多摩区、宮前区に拡大された「アルテリッカ」を活用し充実させていく。
- ・若者が住みたくなる魅力ある芸術・文化のまちづくりについては、区と協定を結ぶ6大学との連携による取組みができるのでは。
- ・芸術・文化関連団体へのヒアリング結果に関し、ふれあいカードの利用については、施設ごとの特徴に合わせて導入している。

文化事業の予算は、現在、「音楽のまち」として「ミュージア」を活用した施策に重点的に経費をかけており、文化芸術団体への補助等を行っていない。大きな施策転換により流れが変わることはある。

市民館については、改修して長期的に使用していく。練習所のインフラ整備は経費がかかるため、一朝一夕にはいかない。

【主な意見】

- ・全体として、（区民会議の提言や質問内容等に対し）フレーム的な回答のみであった。
- ・第3期提言書への対応（工程）が不明瞭である。
- ・麻生区の「芸術・文化のまち」を決めているのは誰なのか。また、市民館、アートセンター、アルテリッカなど、芸術・文化関連施設やイベントなどの所管や関係性がわかりにくい。
- ・（練習所の確保に関する）インフラ整備は区民会議が検討するテーマではなく、区民との協働で課題を解決していくことが区民会議の本来の趣旨だ、という説明があった。
- ・今後の方向性として、行政を主体とするのではなく、ヒアリング結果をもとに、区民会議自体が1歩踏み出して本気でどうやるのか、ということを考えていく必要がある。
- ・区民会議としては、第2期川崎市文化芸術振興計画への意見と、区への提言の双方をそれぞれ個別に検討していけばよい。

【決定事項】

- ・各委員は8月中に、第2期川崎市文化芸術振興計画についての意見を事務局に提出する。

②「子育てしやすい環境づくり」

【説明事項】

※菅原委員より、資料4、5をもとに、麻生区の子育て支援事業、市民館保育ボランティア研修について説明があった。主な内容は以下の通り。

- ・麻生区の子育て支援事業について（麻生区の認可保育園（公立、民間）、子育てサロン、川崎認定保育園、川崎市認定保育園、川崎認定保育園、地域保育園の状況）

- ・岡上こども文化センターでの取り組み状況と利用状況（地域子育て支援センター事業、岡上子育て安心広場、おかつこサロン、子育て人材バンク）
- ・地域子育て自主グループとそれに対する支援状況
- ・今後の部会の審議の進め方について、「子育てするなら麻生区で～安心・楽しい・助かる～」をテーマに、モデル事業実施も考慮し、「安心」「楽しい」「助かる」をキーワードとした各取り組みを検討してはどうか。

【主な意見】

（子育て支援について）

- ・情報発信・情報提供も重要な子育て支援である。本日会議資料として配布されている「ちびっこおでかけMAP」などを広く区民に配布するだけでも違うのではないかな。
- ・（子育て支援）情報の集約として、コンシェルジュの設置は良いのでは。
- ・ふれあい子育てサポートセンター・宙（そら）での一時預かりで、サポートメンバーになる人は研修が必要。
- ・社協では、既存の一時預かり事業があるが、麻生区独自の取組みがあるとよい。

（今後の方向性）

- ・菅原委員提案の内容全ての実施は難しいので、3つのキーワードの横断的な解決ができるものが良いのではないかな。
- ・行政が及ばない部分について提言できれば素晴らしい。
- ・産前産後家庭支援ヘルパー派遣も良い。
- ・慶応義塾大学卒業生が運営している病児保育のNPO（認定NPO法人フローレンス）は評判が良いと聞く。
- ・「子育てカフェ」「子育てフェスタ」は、キーワードの「楽しい」の部分で、芸術・文化のテーマと融合できる。保護者も子どもも芸術・文化で楽しく。
- ・人材バンク事業の充実、ボランティア養成・研修講座、子育てガイドの学習・研修講座の開催は良いのではないかな。

→子育てフェスタは横断的な解決につながるのでは。予算をつければできる。

最初は小さく始めればよい。フォーラムの代わりにモデル事業ができないかな。

【決定事項】

- ・「子育てしやすい環境づくり」では、「子育てフェスタ」の提案に向け、モデル事業の実施を検討する。これに伴い、全体会資料を修正する。
- ・8/26(月)全体会后、勉強会を開催する（17:00～）。

（3）その他

- ・次回部会：平成25年9月13日（金）18時～ 第3会議室

以上